



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 クルーズ株式会社 上場取引所 東

コード番号 2138 U R L <https://crooz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小渕 宏二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者CFO (氏名) 関本 清高 (TEL) 03-6387-3622

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	8,474	△22.7	△151	—	△326	—	△332	—
2025年3月期第3四半期	10,957	2.3	△1,013	—	△865	—	△492	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △323百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 △518百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△34.78	—
2025年3月期第3四半期	△49.45	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	30,984		8,988		28.7	
2025年3月期	29,530		9,327		31.1	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 8,886百万円 2025年3月期 9,192百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	—	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	11,821	△16.7	30	—	△174	—	△170	△17.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) Studio Z株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- |                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期 3Q | 12,957,600株 | 2025年3月期    | 12,957,600株 |
| ② 期末自己株式数           | 2026年3月期 3Q | 3,389,880株  | 2025年3月期    | 3,389,880株  |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 2026年3月期 3Q | 9,567,720株  | 2025年3月期 3Q | 9,963,274株  |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、インフラやテクノロジーの進化、世の中のユーザーのニーズの変化に合わせて事業を創造するテックカンパニーとして、ITアウトソーシング、EC領域を中心に10以上のサービス・事業を展開しており、現在はIT人材業界におけるエンジニア人材の不足という市場課題を解決することを主としたシステムエンジニアリングサービス事業（SES事業）を中心に、人材×IT領域を対象として事業展開をおこなっているITアウトソーシング事業をメイン事業としております。

経済産業省が公表した「IT人材需給に関する調査（注1）」によると、IT関連市場規模の拡大に伴い、2030年までIT人材の不足は年々増加すると予測されており、2030年には最大で約79万人のIT人材が不足する見込みと言われております。また、IT人材の平均年齢の高齢化もあり、ITニーズの増加に伴う需給ギャップの拡大は今後益々拡大されることが予測されます。その中で、当社グループのITアウトソーシング事業は2020年の事業開始から前期まで売上高年平均成長率約68%と大きく成長してきております。当第3四半期連結会計期間においては、売上高は1,981,469千円（前年同期比63.0%増）、営業利益が11,791千円（前年同期比65.9%減）となりました。前年同期比で売上が増加し、営業利益が減少しておりますが、これは主力のSES事業を牽引した役員に対し、さらなる意欲向上を目的としたインセンティブ報酬を戦略的に支給したことが主因になります。この一時的な影響を除外すると、SES事業においては前年同期比で約40%の増益のため事業進捗は好調であり、さらに成長させるために引き続き注力していきたいと思っております。

EC事業については、当第3四半期連結会計期間の売上高は1,064,321千円（前年同期比51.8%減）、営業利益が48,405千円（前年同期比31.0%減）となりました。EC事業は前期まではSHOPLIST事業とAda.事業で構成されておりましたが、SHOPLIST事業については、2025年2月28日に株式譲渡が完了しており、当期からはAda.事業のみとなっております。Ada.事業は、主に『ZOZOTOWN』内で展開する、オリジナル商品と他社優良ブランドの商品を厳選したファッショントレクトショップを運営しておりますが、当該Ada.事業のみでみると当第3四半期連結累計期間の売上高の増減率は前年同期比31.4%増となっており、季節要因による変動が若干ありますが、事業開始から順調に成長しております。

今後はメイン事業となるITアウトソーシング事業に経営資源を集中し、さらに業績を伸ばしていきます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,474,125千円（前年同期比22.7%減）、営業損失151,710千円（前年同期は営業損失1,013,078千円）、経常損失326,201千円（前年同期は経常損失865,785千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失332,769千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失492,671千円）となりました。

（注1）2019年3月公表の経済産業省「IT人材需給に関する調査 調査報告書」を基に記載しております。

セグメントごとの経営成績の状況を示すと次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

① ITアウトソーシング事業

売上高は5,309,521千円（前年同期比63.3%増）、セグメント利益は11,493千円（前年同期はセグメント損失23,688千円）となりました。

② EC事業

売上高は2,846,690千円（前年同期比51.4%減）、セグメント利益は90,486千円（前年同期比75.7%増）となりました。

③ その他事業

売上高は317,913千円（前年同期比82.8%減）、セグメント損失は254,051千円（前年同期はセグメント損失1,041,109千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、現金及び預金の減少3,372,312千円などがあった一方で、投資不動産の増加5,033,246千円などにより、30,984,342千円（前連結会計年度末比1,454,175千円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、社債の減少1,500,000千円及び預り保証金の減少665,438千円などがあった一方で、長期借入金の増加3,685,513千円などにより、21,995,680千円（前連結会計年度末比1,792,768千円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上332,769千円などにより、8,988,662千円（前連結会計年度末比338,593千円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年11月12日の「2026年3月期 連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,104,071	6,731,759
売掛金	2,365,500	1,888,675
商品	327,978	420,973
その他	528,712	328,962
貸倒引当金	△550,696	△15,914
流動資産合計	12,775,565	9,354,457
固定資産		
有形固定資産	215,531	293,476
無形固定資産		
ソフトウエア	6,340	3,861
無形固定資産合計	6,340	3,861
投資その他の資産		
投資有価証券	3,656,678	3,481,839
投資不動産	12,021,078	17,054,325
その他	786,530	742,964
投資その他の資産合計	16,464,287	21,279,129
固定資産合計	16,686,159	21,576,467
繰延資産		
社債発行費	68,441	53,417
繰延資産合計	68,441	53,417
資産合計	29,530,166	30,984,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	670,349	687,955
1年内償還予定の社債	2,000,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	604,718	945,688
未払金	450,160	527,195
未払費用	153,629	173,029
未払法人税等	126,660	147,868
その他	551,295	275,211
<b>流動負債合計</b>	<b>4,556,815</b>	<b>4,756,948</b>
<b>固定負債</b>		
社債	5,000,000	3,500,000
長期借入金	9,506,192	13,191,706
繰延税金負債	33,967	56,894
預り敷金	439,879	489,513
預り保証金	665,438	—
その他	617	617
<b>固定負債合計</b>	<b>15,646,095</b>	<b>17,238,732</b>
<b>  負債合計</b>	<b>20,202,911</b>	<b>21,995,680</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	460,163	460,163
資本剰余金	1,379,395	1,379,395
利益剰余金	10,955,702	10,639,678
自己株式	△3,851,091	△3,851,091
<b>株主資本合計</b>	<b>8,944,169</b>	<b>8,628,145</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	255,394	264,934
為替換算調整勘定	△7,437	△7,030
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>247,957</b>	<b>257,903</b>
<b>新株予約権</b>	<b>9,753</b>	<b>5,047</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>125,374</b>	<b>97,565</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,327,255</b>	<b>8,988,662</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>29,530,166</b>	<b>30,984,342</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	10,957,163	8,474,125
売上原価	6,327,632	4,098,055
売上総利益	4,629,530	4,376,070
販売費及び一般管理費	5,642,609	4,527,781
営業損失(△)	△1,013,078	△151,710
営業外収益		
受取利息	65,611	51,346
為替差益	1,296	4,735
投資事業組合運用益	157,355	—
貸貸収益	225,723	387,139
その他	25,423	12,655
営業外収益合計	475,410	455,877
営業外費用		
支払利息	114,110	218,359
持分法による投資損失	34,953	8,840
社債発行費償却	15,023	15,023
投資事業組合運用損	—	20,937
貸貸費用	128,908	349,477
その他	35,122	17,730
営業外費用合計	328,117	630,368
経常損失(△)	△865,785	△326,201
特別利益		
新株予約権戻入益	0	4,760
投資有価証券売却益	1,008,129	39,000
受取和解金	6,000	—
固定資産売却益	44	1,371
その他	—	52
特別利益合計	1,014,173	45,185
特別損失		
固定資産除却損	1,024	19,234
投資有価証券評価損	4,999	—
関係会社株式売却損	—	7,329
事務所移転費用	—	36,852
貸倒引当金繰入額	534,782	—
その他	2,536	3,589
特別損失合計	543,343	67,006
税金等調整前四半期純損失(△)	△394,954	△348,023
法人税、住民税及び事業税	84,481	△14,905
法人税等調整額	11,036	—
法人税等合計	95,517	△14,905
四半期純損失(△)	△490,472	△333,117
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,199	△348
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△492,671	△332,769

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△490,472	△333,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,920	9,539
為替換算調整勘定	479	406
その他の包括利益合計	△28,441	9,946
四半期包括利益	△518,913	△323,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△521,113	△322,822
非支配株主に係る四半期包括利益	2,199	△348

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITアウト ソーシング 事業 (注) 3	EC事業 (注) 4	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,250,628	5,862,430	9,113,058	1,844,104	10,957,163	—	10,957,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,024	—	67,024	234,013	301,038	△301,038	—
計	3,317,652	5,862,430	9,180,083	2,078,118	11,258,201	△301,038	10,957,163
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	△23,688	51,719	28,031	△1,041,109	△1,013,078	—	△1,013,078

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない共通費を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 ITアウトソーシング事業のうち、主要なSES事業の売上高は2,149,844千円、セグメント利益が92,488千円、介護福祉人材サービス事業の売上高は48,812千円、セグメント損失が77,273千円となっております。

4 EC事業はSHOPLIST事業とAda. 事業で構成されており、2025年2月28日に譲渡済みのSHOPLIST事業の売上高3,695,563千円が含まれております。Ada. 事業のみの売上高は2,166,867千円となります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ITアウト ソーシング 事業 (注) 3	EC事業 (注) 4	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,309,521	2,846,690	8,156,212	317,913	8,474,125	—	8,474,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,932	—	1,932	165,155	167,087	△167,087	—
計	5,311,453	2,846,690	8,158,144	483,068	8,641,212	△167,087	8,474,125
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	11,493	90,846	102,340	△254,051	△151,710	—	△151,710

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに配分していない共通費を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の合計額は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
- 3 ITアウトソーシング事業のうち、主要なSES事業の売上高は3,012,070千円、セグメント利益が169,743千円、介護福祉人材サービス事業の売上高は723,789千円、セグメント損失が116,777千円となっております。
- 4 EC事業のうち、SHOPLIST事業は2025年2月28日に譲渡済みであるため、第1四半期連結会計期間よりAda.事業のみとなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間から、「メディア事業」については量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

第1四半期連結会計期間から、「GameFi事業」については量的な重要性が低下したため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間  
(自 2024年4月1日  
至 2024年12月31日)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2025年4月1日  
至 2025年12月31日)

減価償却費

203,239千円

164,677千円